

白毛門リベンジ

山行日：3月10日(日)【前夜発】

コース

3月09日(土) 松戸 19:30=関越道=水上 I C =土合駅 23:00 土合 or 湯檜曾 SH 泊

3月10日(日) 土合橋 6:00~白毛門 10:30~土合橋 13:00=関越道=松戸 18:30

Kリーダーからじきじきのお誘いが・・・

白毛門リベンジに参加しないかとの事・・・お誘いは嬉しいが、前回の『白毛門雪山訓練』の場面が頭をよぎる。雪が少なく木の根や岩肌が露出する中をアイゼンで大変苦労した記憶が頭から離れず、即答を体が拒否していました。しかし前回一緒に断念した W さんも参加されるので、ここで逃げれば男が廃るというもの、悩んだ末に参加表明。

今回は例年通りの雪があり、前回の夏道登山と違い尾根道を直登することになりました。



おお・・・これこそ雪山登山と意気込みましたが、登り始めて5分で後悔、尾根道は踏み跡こそあるものの、これでもか？と言うぐらいの登りで、早くも太ももの乳酸菌が悲鳴をあげていました。

天気が良く、気温も上がり絶好の山日和ですが、はじめは体が慣れない為かきつい時間が続き景色を見る余裕も無く前を歩く H さんの足元ばかり見ていました。

しかし、これではいけないと顔をあげると勇壮な雪山の景色が眼下に広がり、疲れも一気に吹き飛びました。前回と違い尾根道は大変視界がよく振り返ると谷川岳やその奥に続く山々がく

つきりと見えます。

景色に励まされながら進むこと約3時間？高度1400メートル付近で体調不良の1名をデポし4人で山頂をめざします。

先ほどから筆者は上りがきつい事しか書いてないのはわかっているのですが・・・でも、ここからがまた潔いぐらいに上っています。ジジ岩・ババ岩はまさにダメ押し・・・ それでも山頂が見えるので Kリーダーの発破を受けながら歯を食いしばりますと『さ山頂だあ〜』。いっせいに4人が握手を交わしリベンジに成功した者、5年ぶりに山頂まで来れた者、久しぶりの白毛門を味わった者とそれぞれが万感の思いを胸に、しばし谷川岳、笠ヶ岳の素晴らしい景色を堪能しました。

下山に際しては1週間前にここで滑落事故が発生しているので慎重を期しましたが、終了間際にミニ滑落事故発生！！ BさんがWさんに追突、二人仲良く木の根の穴に転落してました。幸い怪我無く済みましたが、後ろで見ていた筆者は滑り出したら止まらない滑落の実態を見て驚きました。穴の中で絡まっている二人をみて不謹慎にも爆笑してしまいました。(申し訳ありません・・・)



リベンジの機会を与えてくださった K (LD) 、意外とまじめではないことに気づいた H (SL) 、車中や山行中に爆笑トークで盛り上げてくれた B さん、ここのことろずーと一緒に山行している W さん、本当にすばらしいメンバーとの楽しい山行でした。ありがとうございました！